



2020年11月2日

各位

会社名 ホクト株式会社
 代表者名 代表取締役社長 水野 雅義
 (コード番号 1379 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役管理本部長 高藤 富夫
 (TEL. 026-259-5955)
 (URL <https://www.hokto-kinoko.co.jp/>)

第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2020年8月3日に公表した2021年3月期第2四半期累計期間の連結および個別の業績予想と本日公表の同期間の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業績動向を踏まえ、2020年5月15日に公表した2021年3月期連結および個別の通期業績予想を下記の通り修正致しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 33,700	百万円 570	百万円 630	百万円 390	円 銭 12.47
実績値 (B)	33,610	997	980	528	16.88
増減額 (B-A)	△89	427	350	138	—
増減率 (%)	△0.3	75.0	55.6	35.4	—
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期第2四半期)	32,143	△960	△1,071	△831	△26.27

2. 2021年3月期第2四半期（累計）個別業績予想と実績値との差異（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 23,300	百万円 310	百万円 510	百万円 320	円 銭 10.23
実績値 (B)	23,498	683	735	465	14.88
増減額 (B-A)	198	373	225	145	—
増減率 (%)	0.9	120.4	44.2	45.5	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期第2四半期)	21,793	△1,296	△1,274	△949	△30.00

3. 差異の理由

国内きのご事業におきましては、長雨の影響等で野菜相場が想定より高めに推移したこと及び新型コロナウイルス感染症の影響で内食志向になったこと等により、きのこの価格は堅調に推移し売上高、利益共に予想を上回りました。一方で、海外きのご事業及び化成品事業では新型コロナウイルス感染症の影響により、連結業績の売上高は若干下回ったものの、利益は大幅に上回りました。また個別業績においては、売上高、利益共に予想を上回る結果となりました。

4. 2021年3月期通期連結業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 72,800	百万円 4,340	百万円 4,510	百万円 2,740	円 銭 87.55
今回修正予想 (B)	73,600	5,810	5,890	3,610	115.25
増減額 (B-A)	800	1,470	1,380	870	—
増減率 (%)	1.1	33.9	30.6	31.8	—
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期累計期間)	71,220	3,923	4,187	1,531	48.59

5. 2021年3月期通期個別業績予想の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 51,500	百万円 3,500	百万円 3,940	百万円 2,540	円 銭 81.16
今回修正予想 (B)	52,800	5,060	5,240	3,360	107.26
増減額 (B-A)	1,300	1,560	1,300	820	—
増減率 (%)	2.5	44.6	33.0	32.3	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期累計期間)	50,498	2,936	3,326	1,783	56.58

6. 修正の理由

2021年3月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定すること及びきのこの需要・価格を想定することは困難ではありますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定した業績予想を公表いたします。

今後の見通しは、当第2四半期連結累計期間における業績を踏まえて修正することと致しました。新型コロナウイルス感染症の拡大について一部地域では収束の様相が見られ経済活動の回復の兆しを見せ始めているものの、世界的には収束時期は不透明であり、当連結会計年度中は国内外とも経済活動の本格的な回復には至らず業績に与える影響は継続するものと想定しております。

(注) この資料に記載されております業績等の予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上